

中・県西地域
普通科・専門学科併置校
(小田原城北工業高校・大井高校)
設置基本計画案

令和6年10月
神奈川県教育委員会

1 対象校・位置・実施年度

- (1) 対象校 小田原城北工業高等学校 大井高等学校
- (2) 位置 小田原城北工業高等学校敷地（小田原市栢山200）
- (3) 実施年度 令和8年度

2 設置の目的

- これまで両校が取り組んできた教育活動を踏まえた地域における新たな高校として、幅広い地域資源を活用した様々な連携事業を実施し、これまで以上に密接な地域連携活動を展開する。
- 普通科（クリエイティブスクール）と専門学科（工業）を併置することによって多様な科目の配置が可能となり、進学や就職に向けた学力の向上、技能を身に付けることや資格取得をめざすこと等、幅広い学びの実現を図る。
- 小田原城北工業高校における地域企業や自治会との連携を通して地域産業を担う人材を育成する取組みと、大井高校における福祉教育やクリエイティブスクールとしてのきめ細かな学習指導による確かな学力の定着をめざす取組みを共有し、生徒一人ひとりが目的意識を持てる進路選択の実現を図る。

3 基本的コンセプト

- 学年制による普通科（クリエイティブスクール）と専門学科（工業）を併置する県立高校としての教育の展開
- 創造力と実践力により地域の発展等に主体的にかかわることができる人材の育成をめざす。
- 各学科における教育の推進
 - ア 普通科（クリエイティブスクール）
普通科（クリエイティブスクール）として、学び直しから基礎学力（確かな学力）の定着に取り組む、教育活動全体を通して重点的にコミュニケーション能力の育成を図るとともに、正しい生活習慣やモラル、マナーを身に付けることで、地域社会を担う自立した社会人を育成する。

イ 専門学科（工業）

専門学科（工業）として、実践的・体験的な学習活動を充実させ、自ら課題を発見し、他者と協働しながら課題を解決する力を育むとともに、企業や大学、専門学校や地域社会と連携した教育を展開することで、地域産業を担う将来のテクノロジストを育成する。

○ 学科併置をいかした幅広い教育活動の展開

普通科（クリエイティブスクール）で実践してきた、わかることが実感できるきめ細かな学習指導を専門学科（工業）でも共有し、確実な学力を育成する。

専門学科（工業）で実践してきた資格取得等を普通科（クリエイティブスクール）でも共有し、確かな知識や技能を身に付ける。

学科併置の強みをいかした教育課程を編成し、生徒一人ひとりの興味・関心や多様な進路希望に応じた幅広い教育活動を展開する。

○ 地域とともに歩む学校づくりの推進

これまで両校が取り組んできた地域との連携・協働を継承・発展させ、生徒の地域社会・地域産業への参画意識を高めることで、学校を支える基盤である地域社会・地域産業と、そこで学んだ人材が将来にわたって循環し地域とともに歩めるように、学校づくりを推進する。

4 設置形態

- | | |
|----------|---|
| (1) 課程 | 全日制の課程 |
| (2) 学科 | 普通科（クリエイティブスクール） 機械科（工業に関する学科） 電気科（工業に関する学科） 建設科（工業に関する学科） デザイン科（工業に関する学科） |
| (3) 学校規模 | 全日制の課程 720名程度 普通科 240名程度（各学年80名程度 2学級規模を3学級展開） 機械科 120名程度（各学年40名程度 1学級規模程度） 電気科 120名程度（各学年40名程度 1学級規模程度） 建設科 120名程度（各学年40名程度 1学級規模程度） デザイン科 120名程度（各学年40名程度 1学級規模程度） ※ 学級規模は予定であり、入学定員の発表時に確定 |
| (4) 修業年限 | 3年 在学年限は原則として6年 |

- (5) 学 期 3学期制
(6) 履修形態 学科ごとの科目を中心とした必履修科目及び選択科目による履修
(7) 授業展開 50分6限を基本とし、必要に応じて弾力的な授業時間を設定

5 入学者選抜

- (1) 募集の区分 一般募集（中学校卒業見込み者及び中学校既卒業者）
(2) 選抜の区分 共通選抜
(3) 選考の方法
〈普通科（クリエイティブスクール）〉
事前に公表した「公立高等学校入学者選抜選考基準」に基づいて、選考する。
学力検査を課さず、「特色検査（面接）」を実施する。
〈専門学科（工業）〉
事前に公表した「公立高等学校入学者選抜選考基準」に基づいて、選考する。

6 教育課程

- (1) 基本的方針
- 在籍3年以上で、高等学校学習指導要領に基づいて、必履修科目を履修し、学校において定めた卒業までに修得させる単位数を修得することで卒業とする。
 - 普通科（クリエイティブスクール）においては、わかることが実感できる学びを重視した教育を提供するため、すべての学習活動で1クラスの人数を30人程度で構成し、少人数指導等の工夫をした授業展開を行う。
 - 専門学科（工業）においては、専門教育に関する教科・科目の履修については、25単位を下らないこととする。
- (2) 教育展開の方針
- すべての教科・科目を通して「創造力」及び「実践力」の育成を図るため、各学科において基礎的な科目から応用・発展的な科目までを設置するとともに、生徒一人ひとりの興味・関心や多様な進路希望に応じた科目を選択して学ぶことが可能となるよう配慮し、教科等横断的な視点で系統的な教育の展開を図る。
 - 普通科（クリエイティブスクール）と専門学科（工業）の併置の特色をいかした学びの充実及び、いずれの学科の科目も履修できる教育を展開するとともに、幅広い地域資源を活用した教育を展開する。

- 普通科（クリエイティブスクール）においては、共通教科・科目を中心に設置し、確かな学力の定着に取り組み、言語能力やコミュニケーション能力の育成を図るとともに、教養を身に付けた自立した社会人を育成する。
- 専門学科（工業）においては、共通教科・科目及び専門教科・科目をバランスよく設置するとともに、教科等横断的な視点で展開し、確かな知識や技能・技術及び発展的な応用力の定着に取り組み、幅広い教養を身に付け自立した社会人を育成する。

(3) 編成の方針

- 共通履修科目及び工業に関する学科の専門科目、必修選択科目、自由選択科目で構成する。
- 生徒一人ひとりの興味・関心や多様な進路希望に応じて設定した課題について、普通科（クリエイティブスクール）においては総合的な探究の時間で、専門学科（工業）においては課題研究等での発表・討論等を通して知識及び技能の深化・統合化を図る。
- 地域の教育力や県立高校生学習活動コンソーシアム等を活用し、学校外での学修成果による単位認定を行う。
- 集中講座や学習内容の習熟の程度に応じた学習等、柔軟な履修形態による学習活動を展開する。

(4) 教育課程表（案）

- 普通科（クリエイティブスクール）

| 単位数 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |
|-----|------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------------------|
| 1学年 | 設置計画策定時に確定版を掲載予定 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | L H R ① |
| 2学年 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | L H R ① |
| 3学年 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | L H R ① |

- 工業科

| 単位数 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |
|-----|------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------------------|
| 1学年 | 設置計画策定時に確定版を掲載予定 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | L H R ① |
| 2学年 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | L H R ① |
| 3学年 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | L H R ① |

(5) 学習指導の工夫

- 自らの進路希望や学習目的に基づいて、主体的・協働的に学習に取り組むことをめざし、少人数での授業や学習内容の習熟の程度に応じた授業を展開することで、わかることが実感できる、きめ細かな指導方法の充実を図る。
- 社会に開かれた教育課程の実現に向けて、地域連携活動を展開する等、地域の教育力を活用することで、地域社会・地域産業への参画意識の育成を図る。
- 実験・実習等の実践的・体験的な学習活動を充実させるとともに、生徒一人ひとりに応じたきめ細かな指導を行い、個別最適な学びや協働的な学びを充実させる。

(6) 生徒指導等の工夫

- 特別活動（ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事等）や部活動等の集団活動により、生徒の主体性や達成感、責任感を涵養するとともに、様々な個性を相互に尊重し、コミュニケーションを大切にしたりより良い人間関係の構築と自立をめざす指導を行う。
- 家庭との綿密な連携を図り、生徒が安定した学校生活を送るために、規則正しい生活習慣を形成できるよう指導・支援を行う。
- 心身ともに健康で安全な生活態度や規律ある習慣を形成することができるよう、生徒と教職員との信頼関係を育むとともに、外部機関との連携を通して、規範意識や社会性の育成を図る。
- スクールカウンセラー（SC）やスクールソーシャルワーカー（SSW）による相談・支援を行うとともに、特別支援学校や医療・福祉関係機関との連携を図る。
- 生徒の状況を的確に把握し、様々な困難を抱える生徒に対して情報共有を行いながら、一人ひとりに応じたきめ細かで適切な配慮や支援・相談体制の充実を図る。

(7) 進路指導の工夫

- 生徒が自己の在り方生き方を考え、主体的に進路を選択することができるよう、社会とのかかわりの中で豊かな経験を積み、生徒一人ひとりの社会的・職業的自立に向けて必要な資質・能力を育成するため、教育活動全体を通してキャリア教育実践プログラムに取り組むとともに、組織的かつ計画的な進路指導を行う。

○ 生徒一人ひとりの状況に応じて、外部機関と連携し専門的な相談・支援を行うことで、目的意識を持ち、将来のキャリアを見据えた進路目標を実現できるよう指導する。

○ スクールキャリアカウンセラー (SCC) 等による専門的な相談・支援を行う。

(8) 学校経営

○ 学校教育計画に基づき、学校運営協議会の評価部会による学校評価をいかす等して自律的・組織的な学校経営の一層の充実に取り組む。

○ 両校がこれまで取り組んできた地域連携等の取組みをいかすとともに、学校運営協議会制度 (コミュニティ・スクール) を活用したより一層の地域の参画・協働による学校運営を推進する。

7 施設・設備の整備

○ 両校の統合による普通教育及び専門教育の展開に必要な施設・設備の整備を行う。

8 その他

○ 普通科 (クリエイティブスクール) 及び専門学科 (工業) の教育の展開に必要な職員の配置を行う。



神奈川県

教育委員会教育局指導部高校教育課
高校教育企画グループ 電話(045)210-8254(直通)
横浜市中区日本大通1 丁目231-8588 FAX(045)210-8922
電話(045)210-1111(代表) 内線8255・8256